

道の駅「甘楽」との連携

～歩きたくなる城下町小幡の実現に向けて～



帝京大学 経済学部 大下茂ゼミナール

大澤亮介 青木彩 小串佳穂 田中智史 堀井真悟 望月成之奏

樂山園



城下町小幡



雄川堰



目次

1. 目的
2. 利用実態調査
3. 道の駅への企画提案
4. 実施① PRブース設置
5. 実施② まち歩きビンゴ
6. 考察・感想

1. 目的

甘楽町観光まちづくりプラン(平成27年3月)



道の駅からはじまる時間旅行

～歩きたくなるまち『小幡』の実現にむけて～



国土交通省 × 道の駅かんら × 大下ゼミ
連携事業



道の駅を「まち歩き観光」の玄関口として位置づけ、
地域回遊の促進を図る!!



2. 利用実態調査

<実施日>

2015年5月16日(土)・17日(日)

<実施内容>

- ① 来訪者の実態と
意向把握調査 (223サンプル)
- ② 駐車場ナンバープレート
による誘致圏調査 (868サンプル)
- ③ 来訪者行動調査 (249サンプル)



アンケート時の様子

アンケート表 見本

調査内容

記入日：5/18・5/17
記入場所：道の駅

道の駅アンケート表

当駅では、道の駅にお越しになった方を対象にアンケート調査を実施しております。当駅町の観光まちづくりの参考資料として、皆様のご協力をお願い申し上げます。

問1 道の駅甘楽にお越しになったのは、今回で何回目になりますか。(1つだけ○)

1 今回初めて 2 2～3回目 3 4回以上

問2 今回の道の駅での滞在時間は、どのくらいを予定していますか。(1つだけ○)

1 1時間以内 2 1～2時間 3 2～4時間 4 5時間以上

問3 道の駅では、どのように過ごされましたか。

1 休憩 2 ショッピング 3 観光情報収集 4 その他(具体的に)

問4 今回の来訪の前から、「道の駅甘楽」のことはご存知でしたか。(1つだけ○)

1 知っていた 2 知らなかった → 問6へ

問5 『道の駅甘楽』のことは、どのような情報をもとにご存知でしたか。(あてはまるものを全てに○)

1 テレビ・ラジオ番組 2 旅行雑誌・ガイドブック等の情報 3 知人・友人の紹介 4 ポスター・パンフレット 5 新聞 6 ホームページ情報 7 道路にある案内サイン 8 以前から知っている 9 その他(具体的に)

問6 『道の駅甘楽』に滞在されて、どのような印象を持たれましたか。①～⑤の項目について、それぞれ「良い」「普通」「悪い」を1つお選びください。(1つだけ○。複数されている場合は「4」)

① 道の駅の雰囲気..... 1 良い 2 普通 3 悪い 4 わからない
 ② スタッフの接客..... 1 良い 2 普通 3 悪い 4 わからない
 ③ 商品の品揃え..... 1 良い 2 普通 3 悪い 4 わからない
 ④ 商品の展示・陳列..... 1 良い 2 普通 3 悪い 4 わからない
 ⑤ 製品情報等の分かりやすさ..... 1 良い 2 普通 3 悪い 4 わからない
 ⑥ 観光情報・観光案内..... 1 良い 2 普通 3 悪い 4 わからない

問7 食事が提供されていることをご存知でしたか。

1 知っていた 2 知らなかった → 問9へ

問8 食堂では、何を召し上がりになりましたか。(あてはまるものを全てに○)

1 焼肉定食 2 定食 3 焼酎 4 ドリンク 5 洋食 6 その他

具体的なメニュー.....

問9 イタリアの『チェルタルド市』と姉妹都市であることをご存知でしたか。(1つだけ○)

1 知っていた 2 知らなかった

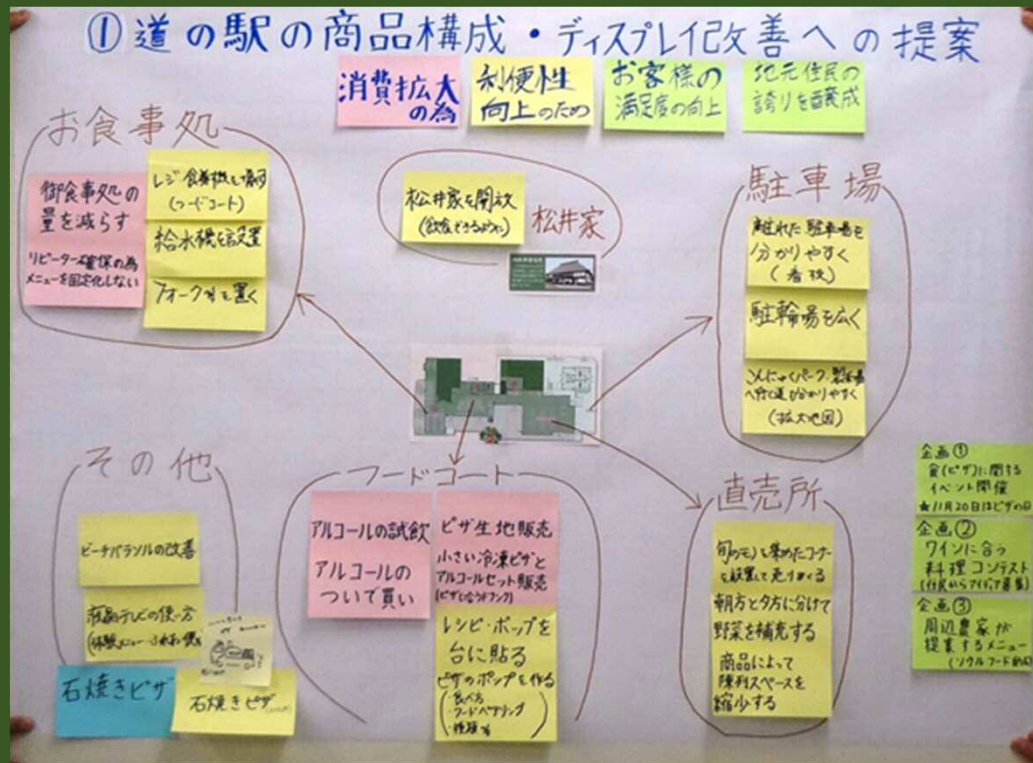
(調査につづく)

- 問1 来訪経験
- 問2 来訪頻度
- 問3 来訪目的
- 問4 『道の駅甘楽』印象評価
- 問5 『道の駅甘楽』商品評価
- 問6 自由回答【道の駅の商品について】
- 問7 『道の駅の飲食メニュー』印象評価
- 問8 自由回答【道の駅の飲食メニューについて】
- 問9 自由回答【道の駅を快適に楽しむことができるサービスについて】
- 問10 滞在時間について
- 問11 まち歩きを楽しむことができるサービスについて
- 問12 自由回答【まち歩きについてお考えの点】
- 問13 回遊状況
- 問14 認知度【イタリアの『チェルタルド市』との姉妹都市について】
- 問15 回答者属性

3. 企画提案

- ①農産物直売所の商品構成・ディスプレイ改善
- ②地元特産品や交流都市の食材等を活用した
テイクアウト・アイテムと道の駅フードメニューの開発
- ③快適回遊につながるプログラムづくり
- ④道の駅での観光コンシェルジュの仕組みづくり

①道の駅の商品構成・ディスプレイ改善



ワークショップ内容

姉妹都市認知の低さに着目し、ブースのディスプレイをプロデュース!!



直輸入ワイン



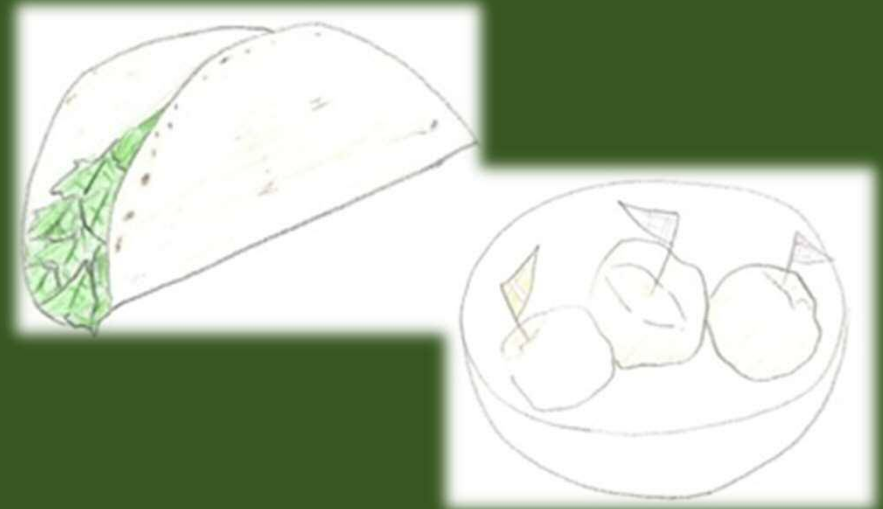
イタリア・チェルタルド市

- ・PRブース設置
- ・ピザ生地販売

②地元特産品や交流都市の食材等を活用したテイクアウト・アイテムと道の駅フードメニューの開発



ワークショップ内容



- ・ピザロール
- ・おからドーナツ
- ・キウイソフト 等

③快適回遊につながるプログラムづくり

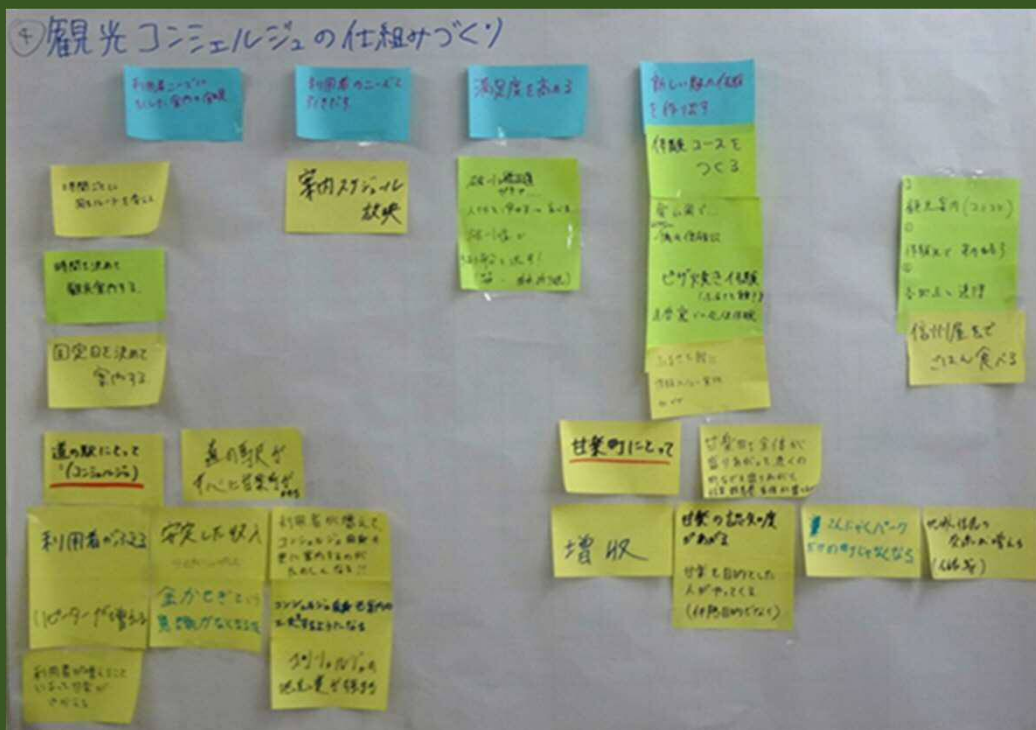


ワークショップ内容



・3/14(日)まち歩きビンゴ大会

④道の駅での観光コンシェルジュの仕組みづくり



- ・無料案内の充実
- ・マップ付きランチョン
マツの作成・使用

ワークショップ内容

企画提案

① 農産物直売所の商品構成・ディスプレイ改善

② 地元特産品や交流都市の食材等を活用した
テイクアウト・アイテムと道の駅フードメニューの開発

③ 快適回遊につながるプログラムづくり

④ 道の駅での観光コンシェルジュの仕組みづくり

実施① PRブース設置

～プチ贅沢な時間をワインとパスタでプロデュース～

＜設置期間＞2015年9月9日(水)～




↑上段

↓下段

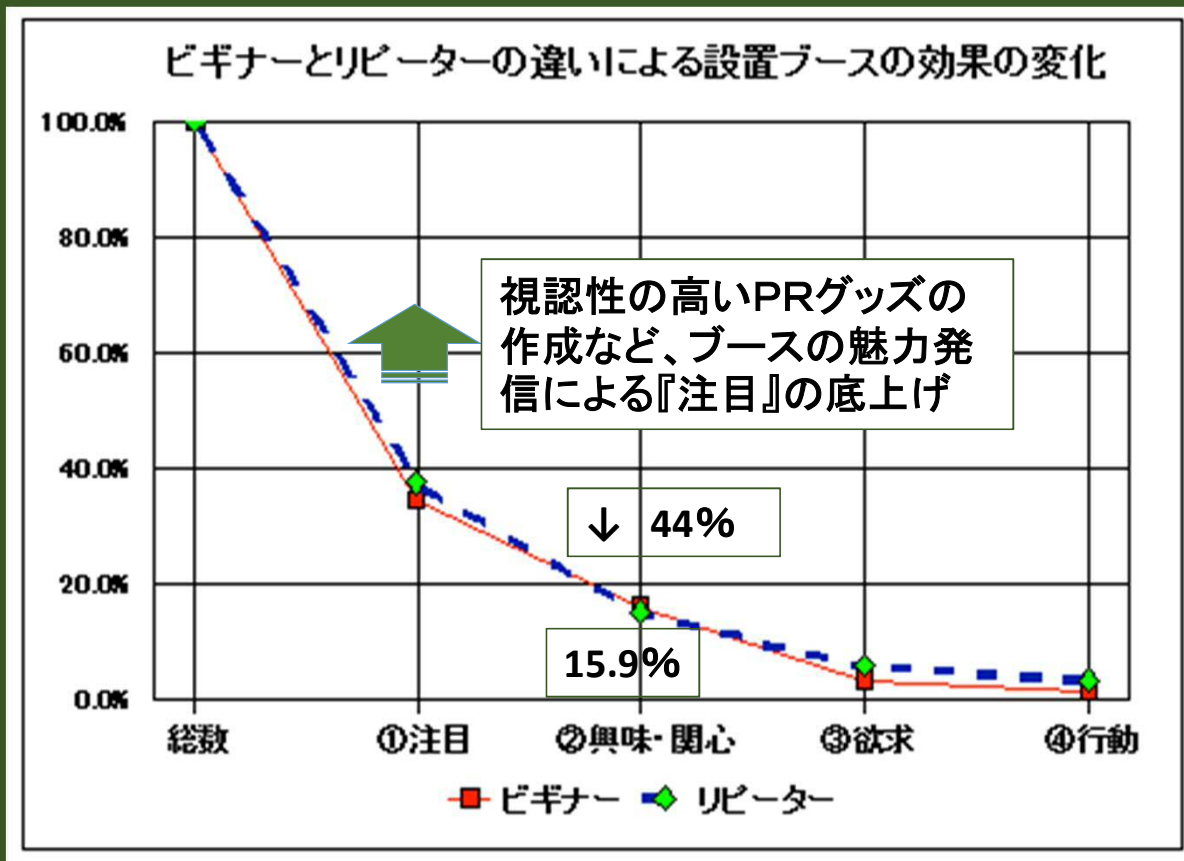


パスタのレシピ

他のパスタ 材料 (2人分) ・パスタ ・ジャガイモ ・キノコ ・etc. ・オリーブオイル ・塩こしょう ・etc.	 <p>🍷の定番 心もからだも温まる...</p> <p>帝京大学 経済学部 経済学系 帝京大学 経済学部 経済学系 帝京大学 経済学部 経済学系</p>
<p>自ワインの中からお好みのワインを 選んで、食事を楽しんでください★</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 洗ったジャガイモをラップなどで包み3分チンします。2. フライパンにニンニクとオリーブオイルを入れて 弱火でじっくり炒める3. キノコを入れて塩こしょうで味付けする4. ジャガイモ、牛乳、生クリーム、コンソメを入れて 沸騰したら火を止める5. 茹でたパスタ(湯をきって)を投入し、 チーズを散らして混ぜて完成です

実施① PRブース設置後効果検証

～AIDMA手法による効果検証～



＜実施日＞2015年11月15日(日)



インタビュー調査時の様子

企画提案

- ①農産物直売所の商品構成・ディスプレイ改善
- ②地元特産品や交流都市の食材等を活用した
テイクアウト・アイテムと道の駅フードメニューの開発
- ③快適回遊につながるプログラムづくり
- ④道の駅での観光コンシェルジュの仕組みづくり

実施② まち歩きビンゴ

<実施日>

2016年3月13日(日) 13:00～14:30

主催:甘楽町

共催:道の駅甘楽

甘楽町観光協会

帝京大学大下ゼミ

参加者数:120人



実施② まち歩きビンゴ

3級	2級	1級
<ul style="list-style-type: none">・初級者向け・2時間かけて回る・①から⑯を使用・3×3マスのビンゴ	<ul style="list-style-type: none">・中級者向け・3時間かけて回る・①から⑳を使用・5×5マスのビンゴ・観光資源発掘として写真を1枚自由に撮ってきてもらう	<ul style="list-style-type: none">・上級者向け・1日かけて回る・①から㉔を使用・5×5マスのビンゴ・駅長賞を設ける・観光資源発掘として写真を2枚自由に撮ってきてもらう

実施② まち歩きビンゴ 5つの効果

- ①小幡のまち歩き観光のゲートウェイとしての「道の駅」のさらなる位置づけや意味合いの向上
- ②道の駅から始まるまち歩き観光商品（体験プログラム）の新たな創出と販売
- ③ゲーム感覚を取り入れることによる来訪顧客層の開拓やグループでの来訪チャンスの拡大
- ④クイズの中で提案される新しい地域の魅力発見を通じた新資源の発掘
- ⑤地元小学生等をターゲットとするイベント実施による地元住民の愛着と誇りの醸成

実施② まち歩きビンゴ 開催の様様



副町長の開会あいさつ
で、まち歩きビンゴ大会
がスタート

～かんらちゃんも激励に!!



まち歩きしながら
…クイズに挑戦
(シールください!!)



ヒント教えてよ～!!

実施② まち歩きビンゴ 開催の様様



Wビンゴしたよ~!!
(ゴール確認)



Wビンゴ賞・・・ガチャ(何が出た??)



表彰式
・・・優勝★おめでとう!!



まち歩きびんご大会の様子は、当日の夕方の群馬TVでも、ニュースで紹介されました。

実施② まち歩きビンゴ 運営の3つのポイント

①参加する子供たちの交通安全の確保

- ⇒危険と想定される箇所(3箇所)における安全確保の学生と役場職員スタッフ配置
- ⇒クイズの正解や案内のため7箇所のポイントにおける学生スタッフ配置

②ふるさとの再発見につながるルールづくり

- ⇒設定したゴール時間に最も近い参加者が「優勝」というルールづくり
- ※今回の開催趣旨は、じっくりと城下町小幡を 巡って、ふるさとの良さを子どもたちに再発見していただきたい!!・・・タイムレースではない!!

③まち歩きを楽しんでもらうための仕掛けづくり

- ⇒クイズに正解するとビンゴカードに「甘楽ちゃんシール」を貼る工夫
(隠れキャラの準備～ポイント限定のキャラクター)
- ⇒Wビンゴでガチャによって賞品ゲット!!



考察・感想

【連携事業を通じた感想】

- ◎企画力・実践力の向上・・・行動・実践することからの貴重な学び
- ◎調整することの難しさを実感
- ◎事業の課題⇒一定の活動費の確保が必要と考えます。
(学生自身、担当教員への活動費の負担にも限界)

【今後の展開】・・・ゼミの後輩への襷リレー

- ◎継続して実施することが大切
 - ⇒連携ブースの改善に期待
 - ⇒第2回まち歩きビンゴ大会の開催(アンケートに基づく改善を加えて)
- ◎フード関係の提案事業の実現とコンシェルジュの展開等の未着手の取組みについて実現して欲しい。

ご清聴、ありがとうございました。

今回、貴重な機会をいただきました、「国土交通省関東地方整備局さま」
「高崎河川国道事務所さま」「相武国道事務所さま」「道の駅甘楽の皆さま」
「甘楽町産業課さま」、そして、本学・八王子キャンパスのキャリアサ
ポートセンターの皆さまに、感謝申し上げます。